

児童の実態を踏まえ、指導案を立てましょう！

令和2年6月〇日 〇曜日 第〇時■ (〇〇室)

指導者

- (1) 三つの資質・能力に合わせて、目標を示す。(知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等の順) 学習指導要領に沿い、本単元の学習を通して身に付けさせたい力を、児童の立場で記述する。学びに向かう力、人間性等は「～しようとする」、他の観点は「～することができる」の表現を用いる。※計画案本文参照

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
○ ○ ○	<p>1 ■○○○ 1 単位時間の流れに沿って学習活動と学習内容を児童の立場で、簡潔に記述する。</p> <p>■(1)■○○</p> <p>(2) 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>○ 本時の目標や主たる学習活動を踏まえ、児童に提示できる分かりやすい言葉で記述する。 ○</p>	10	<p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ■○○○○○○○。</p> <p>児童の学習活動を促すための指導者の手だて、発問・指示・板書・教材教具の活用等で配慮すること、予想されるつまずきに対する支援を具体的に記述する。左側の学習活動とできるだけ位置を合わせて書く。</p>

<p>2 ○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>(1) ○○○○○○○○○○○○</p> <p>■ ■ ○○○○○○○○○○。</p> <p>(2) ○○○○○○○○○○。</p> <p>■ ■ ・ ○○○○○○</p>	<p>1 → 主な学習活動，学習内容</p> <p>(1) → 1 を受けた具体的な学習活動，学習内容</p> <p>○ → (1) をさらに具体化・細分化した学習内容</p> <p>・ → 予想される児童の反応，より具体的な学習内容</p>	<p>18 評○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○して いる。 (ワークシート)</p>
<p>3 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○。</p> <p>(1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○。</p> <p>段階の大まかな区切りだけでなく、 学習活動の区切りにも、予定時間を 必要に応じて記入する。</p>	<p>30 () には評価するもの、ことを書く。 机間指導等、指導者の活動は書かない。</p>	<p>40 評○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○している。(話し合い，発表)</p>
<p>4 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○。</p> <p>○ ○○○○○○○○</p> <p>○ ○○○○○○○○</p>	<p>「本時の目標」が複数ある場合は、それぞれの目標に対応させて 「本時の評価規準」を設定する。</p>	<p>○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。</p>

(5) 本時の評価規準

■■●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○している。()

「理解」など認知的な部分を評価する際、指導者が児童のどのような姿を捉えて、本時の目標を達成したと判断するのかを考え、できるだけ、目に見えたり、耳に聞こえたりした姿を書く。

例：「理解している」→「自分の言葉で説明している」

(1) 学級の実態

- ## (2) 指導の力点

- ## 6 指導と評価

以下に示すもの等について、授業参観者からの意見や指導を踏まえ、授業後に自己評価を記述し、今後に生かす。 ※本時の目標、評価規準、手立て、発問、板書、ワークシート